

平成 29 年度日本大学
理事長特別研究シンポジウム

大学における 危機対応と レジリエンス

2018.3.7 (水) 17時00分～

日本大学三軒茶屋キャンパス
1号館3階1310教室

日本大学理事長特別研究

「危機管理学の構築とレジリエントな大学の創造のための総合的研究」

研究代表者
日本大学危機管理学部

文部科学省
高等教育局

東京都総務局
総合防災部

日本大学
本部総務部

司会
日本大学危機管理学部

福田 充 ・ 林 剛史 ・ 中島敬子 ・ 道明康毅 ・ 河本志朗

[ホームページ] http://www.nihon-u.ac.jp/risk_management/

[お問い合わせ] 日本大学三軒茶屋キャンパス 管理マネジメント課 TEL:03-6453-1600 Email: rmss.kenkyu@nihon-u.ac.jp

[所在地] 〒154-8513 東京都世田谷区下馬三丁目 34 番 1 号



日本大学危機管理学部
COLLEGE OF RISK MANAGEMENT, NIHON UNIVERSITY

平成 29 年度 日本大学理事長特別研究 シンポジウム

【開催要項】

大学における危機対応とレジリエンス

開催日時 平成 30 年 3 月 7 日 (水) 17 時 00 分～19 時 30 分

会場 日本大学三軒茶屋キャンパス 1 号館 3 階 1310 教室

一般・自由参加。申込・参加費不要



【プログラム】

17 時 00 分 挨拶 榊 夢 福田 充 (日本大学危機管理学部 学部次長・教授)

17 時 10 分 研究報告 「熊本地震・東日本大震災における大学の被害状況と危機管理対応」

宮脇 健 (日本大学危機管理学部)

「大学における危機管理体制と業務継続計画 (BCP)」

山下博之 (日本大学危機管理学部)

18 時 00 分 パネルディスカッション 「大学における危機対応とレジリエンス」

司 会： 河本志朗 (日本大学危機管理学部 教授)

パネリスト： 林 剛史 (文部科学省高等教育局大学審議課・課長補佐)

中島敬子 (東京都総務局総合防災課・情報統括担当課長)

道明康毅 (日本大学本部総務部・次長)

福田 充 (日本大学危機管理学部・学部次長・教授)

19 時 30 分 閉 会

【会場案内】

東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋駅」徒歩 15 分

駅から首都高三号渋谷線沿いを二子玉川方面へと直進

し、世田谷郵便局の前の交差点で左折。

「世田谷観音通り (旧 明葉通り)」をししばらく直進し、

進行方向にむかって右側の建物が三軒茶屋キャンパス 1 号館です。



【理事長特別研究】

「日本大学理事長特別研究」の研究助成を受け、日本大学危機管理学部を中心とした複数の学部と大学本部の教職員による研究チームによって研究プロジェクト「危機管理学の構築とレジリエントな大学の創造のための総合的研究」が、平成 27 年度より 3 年計画でスタートし、この 3 年間の研究活動で大きな研究成果が得られました。首都直下型地震や南海トラフ巨大地震などの大震災において、日本の大学など高等教育機関はどう対応すべきか、その危機管理体制の構築と業務継続計画 (BCP) のあり方について研究を重ね、その研究成果を今後の日本の大学の危機管理に活かします。

【研究代表者】

福田充 (ふくだ みつる)

日本大学危機管理学部 学部次長・教授

研究者ホームページ <http://fukuda326.o.oo7.jp/>

昭和 44 年、兵庫県西宮市生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学、博士 (政治学)。専門は危機管理学、リスク・コミュニケーション、テロ対策、インテリジェンスなど。内閣府委員会委員、コロンビア大学戦争と平和研究所客員研究員などを歴任。著書に『メディアとテロリズム』(新潮新書)、『テロとインテリジェンス～新極端国家アメリカのジレンマ』(慶應義塾大学出版会)、『リスク・コミュニケーションとメディア』(北樹出版)、『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』(北樹出版) など。

